

1. 開催挨拶
2. 議事内容
 - (1) 報告事項
 - ① 健診標準フォーマットの提示案について報告(資料1, 2, 3)
 - ② 健診標準フォーマットに関する各団体との協議概要(資料4)
 - (2) 協議事項
 - ① 健診標準フォーマットの標準項目の維持管理方法について
 - ② 画像所見コードの検討の進め方について
3. その他、事務連絡

資料:

- 資料1-1 健診標準フォーマット2016 標準項目一覧(提示案)
- 資料1-2 健診標準フォーマット2016 レコード仕様(提示案)
- 資料1-3 健診標準フォーマット2016 コード関係資料(提示案)
- 資料1-4 健診標準フォーマット2016 由来情報(提示案)
- 資料2 健診標準CSVファイル仕様書20161104
- 資料3 健診標準CSVファイル作成手順概要
- 資料4 健診データの標準化に向けた情報交換概要
- 資料5 健診標準フォーマットについて(概要説明)
- 追加資料 未来投資会議資料
- 追加資料 厚生労働副大臣説明資料

協議事項 1

健診標準フォーマットの標準項目の維持管理方法について

2016/12/14,15 健診標準フォーマット2016提示案を配布

2016/12/31まで 上記提示案に対する意見聴取

2017/1/15 整理まとめ

2017/2初旬 協議会開催 正式初期版を確定

以後、協議会事務局(窪寺)に情報収集し、更新版をホームページ上で公開

ホームページ <http://www.kenshin-hyojun.jp/>

検索:

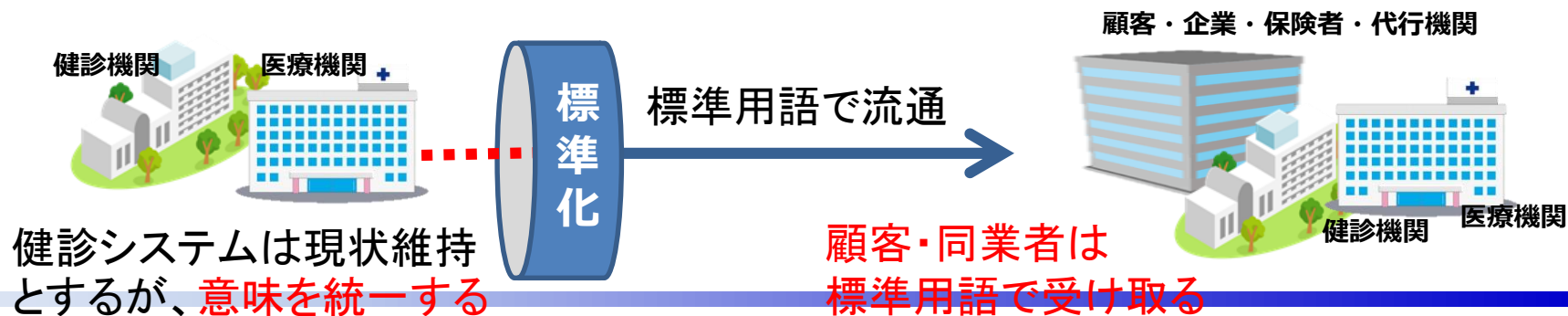
健診標準フォーマット



The screenshot shows the homepage of the project. At the top, there are three colored squares (orange, green, blue) with corresponding text: '健診のデータ項目を標準化する' (Standardizing health check data items), '健診標準フォーマット' (Health check standard format), and '検討スロジェクト' (Review project). Below this is the title '日医総研「健診標準フォーマット」総合案内' (General information for the Japanese Medical Association Research Institute 'Health Check Standard Format'). A navigation bar includes 'ホーム' (Home), '活動状況' (Activity status), '日医健診標準' (Japanese Medical Association Health Check Standard), and 'お問い合わせ' (Contact us). The main content area is titled '最新状況' (Latest status) and contains two news items: one dated 2016.10.12 about the project's progress and another dated 2016.6.2 about the formation of a working group. On the right side, there is a '関連サイト' (Related sites) section with links to the Japanese Medical Association, the Japanese Medical Association's general policy research organization, and NAC-Care Co., Ltd.

画像所見コード考え方について

1. 従来の失敗原因 ⇒ 自施設はわかるが他施設の現場を知らない
 - ・ 自施設中心主義
 - ・ システムは事務処理のための第一という固定観念
 - ・ ディスクが高額だった時代のコード化必須主義
2. 今回の標準化手順 ⇒ 事実を基に用語を整理、ツールを利用し標準用語に変換
 - ・ 協力機関からコード集を収集 ⇒ 90機関 延80万種類
 - ・ 先行している団体からコード集を入手 ⇒ 画像所見のひな型に利用
 - ・ 複数の実データの実態調査 ⇒ 10団体延70万件データの実態
 - ・ コード化方法の再検討 ⇒ アーキタイプとして記述
3. 標準化の構造の理想
 - ・ シソーラス構造にする
 - ⇒ 送信側ではある程度幅のある用語とし、標準流通用語で標準化する
 - ・ 「判定の標準化」を例示する(参考1, 2)



参考1 判定の標準化 シソーラスとは

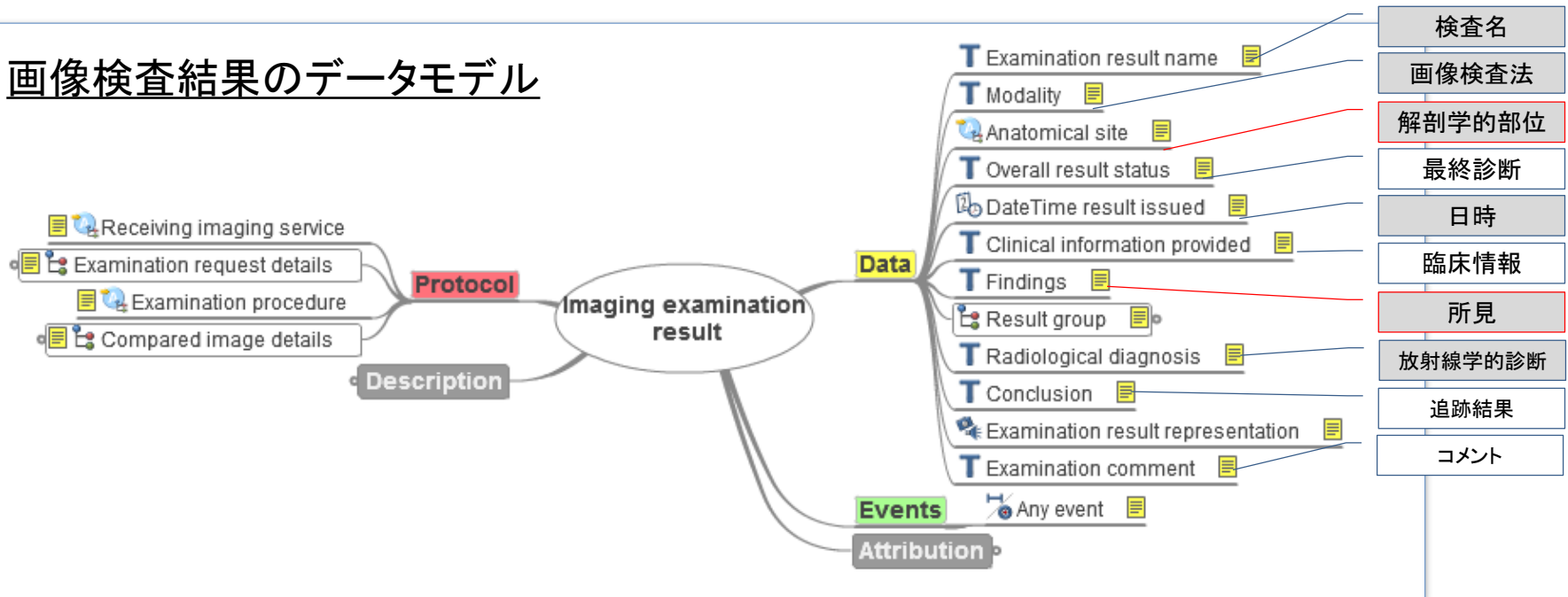
類義語(各施設で利用する用語)			意味	標準用語
正常	正常範囲	異常所見なし	この検査の範囲では異常ありません。	正常範囲内
異常なし	検査の範囲では異常なし			
差支えなし	わずかな異常(放置可)	わずかな異常	僅かに異常を認めるも日常生活に差支えありません。	ほぼ正常
措置不要	支障なし	差支えなし		
軽度基準外	軽度異常	観察不要		
有所見心配なし	有所見健康	放置可		
要観察	経過観察中	要観察12か月後	軽度な異常があります。日常生活に注意を要し、経過観察を必要とします。	要経過観察
要注意	要観察(次回)	経過観察6か月後		
要管理継続	日常生活注意(経過観察)	管理継続		
要管理	生活習慣の改善、経過観察	経過観察3か月後		
観察	要注意			
要観察・指導	異常なし(管理中)			
家庭にて経過観察	産業医相談			
要受診	病院紹介	要専門医	治療を必要とします。	要医療
要手術	要治療			
異常なし(治療中)	医療継続	治療中	治療を継続してください。	治療継続
要治療継続	加療中	治療中(継続)		
要医療継続	現在治療中	治療中(要医師相談)		
通院継続	病院受診	治療継続		
要治療継続	要治療継続(コントロール不良)	主治医受診		
要継続医療・治療中	要治療継続(コントロール良好)			
要二次検査	要精密	至急精検	精密検査を必要とします。	要精密検査
判定不能	近日中再検査		判定不能のため再検査します。	要再検査

参考2 画像所見の標準化

1. 標準フォーマットにおける所見の構造

- 国際規格では解剖学的部位、所見、検査方法、検査機器、与えられた臨床情報、放射線学的診断、検査結果、コメントとなっている(下記のデータモデルを参照)

画像検査結果のデータモデル



- 本協議会の当面の対応は以下でよいかな？
検査方法、解剖学的部位(臓器・部位)、所見(所見、~~診断~~、~~形態~~他)

協議事項 2

画像所見コードの検討の進め方について

2016/12/14,15

① 画像所見のデータの持ち方をどうするか

検査方法、解剖学的部位 (臓器、部位)、所見 (所見、診断、形態他)でいいか？

検査方法はどこまで？

臓器、部位の持ち方はどうする？

所見とは何？診断も所見？形態は？

参考：シソーラスを提示する意味 (⇒右に移行するほど種類が少なくなる構図)

